

評価対象施設名	社会福祉法人 柞の郷 パークテラスⅢ					
評価日	令和7年9月17日					
1. 利用者状況	障害支援区分	人数	内訳 (重複有)	障害別利用者人数		
	非該当	0		身体	0名	
	区分1	0				
	区分2	0		知的	14名	
	区分3	1名				
	区分4	5名		精神	0名	
	区分5	2名				
	区分6	6名		難病	0名	
合計	14名					
2. 利用者の主な日中活動 (1)GHどのような日中サービスを提供しているか (2)外部の日中活動内容について	<p>(1)平日の日中は同一法人の生活介護を利用。ホームで過ごすことを希望又は体調不良で外出出来ない利用者には、ホーム内での介護支援を実施。休日には敷地内でバーベキューや焼き芋、調理実習、ドライブ等利用者が楽しめるサービスを提供。</p> <p>(2)同一法人の生活介護では、遠足、季節の行事、映画鑑賞、リズム体操等の運動、パズルやゲーム、野菜や草花の栽培、袖ヶ浦事業所との合同イベント等幅広く実施。集団活動が苦手な利用者のため、小区画の生活介護も検討中である。</p>					
3. 利用者に対する地域生活の支援状況 (1)外出や余暇活動の支援に努めているか (2)新規入所希望者に体験利用をさせているか	<p>(1)ドライブや公園内の散歩散策、スーパーやコンビニでの買い物支援等人とのふれあいを大切にした支援を心がけている。地域の自治会にも加入し、地域の防災訓練や清掃活動、地域の行事等に積極的に参加している。</p> <p>(2)体験利用を積極的に受入れている。木更津事業所全体で、2024年8月1日～2025年6月30日までで117名を受入れ、うち29名が本入居している。</p>					
4. 支援体制の確保について (1)日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (2)職員研修を実施しているか	<p>(1)国・県の定める基準に従い職員を配置しており、常時支援体制を確保している。</p> <p>(2)年間を通して、虐待防止研修、強度行動障害支援者養成研修、自閉症・ダウン症基礎研修、個別支援計画作成研修、感染症研修、AED救命研修、ハラスメント防止研修等を実施。</p>					
5. 地域に開かれた運営について (1)家族や地域住民との交流の機会が確保されているか (2)実習生やボランティアを積極的に受け入れているか	<p>(1)法人が企画するお祭りやクリスマス会、バーベキューなどで利用者とその家族の交流の場を提供している。また、地区自治会に加入し、お祭りや清掃活動地域主催の津避難訓練等地域の行事に積極的に参加するようにしている。</p> <p>(2)大学生の実習生の受入れ対応はしているが、希望者が少ないのが現状である。</p>					
6. 短期入所の併設について (1)地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか (2)緊急・一時的な支援等の受け入れについて対応しているか	<p>(1)2024年9月から定期的に施設見学会も実施しており、現状では他市町村の利用者が多いが、近隣からの希望があれば受入れについては積極的に対応している。</p> <p>(2)入所は体験利用を優先しているが、要望により短期入所も一時的に受入れている。また、緊急時の受入れについては、木更津市と2025年6月に「災害時における福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結し、協力体制を構築している。</p>					
7. 相談支援事業者や他のサービス事業者との連携状況について	<p>県内のみならず関東近隣の相談支援事業所等と連携を取りながら、入居希望者を募っている。また、近隣の相談支援事業所に当法人の利用者の計画相談や利用計画の作成を依頼している。</p>					
8. 居住支援部会要望・助言・評価	<p>人が住んでいる生活の匂いが全くしない事が気になった。清潔が保たれているといえそうかもしれないが、自然さを感じた。ホーム内や居室内等にもう少し利用者の嗜好や個性が出せると良い。施設長が利用者へ声を掛ける、話しかけられる様子を拝見し、管理職の方も利用者に関わっている印象を受けた。</p> <p>今後も地域住民との関わりを大切にしていきたい。</p> <p>食事について、ホームではタイハイ株式会社、生活介護では日清医療食品等と業者を分けることで入居者が飽きないように工夫されている。</p> <p>昨年度の評価で職員のメンタルケアについて触れたが、管理職との面談を定期的に行い、職場内の環境を整えていると伺えました。今後も継続して欲しい。</p> <p>全体の職員数が100人以上、新人も10人以上いる中、教育が大変重要と思う。教育の中身も今後詳しく伺いたい。</p> <p>今後も家族や地域との交流は積極的に続けていきたい。入居者の年代も持病も様々あると思う。地域の訪問看護の利用等も検討出来ると良い。</p> <p>入居者の希望や特性に応じて、外部の日中活動(B型や生活介護等)の利用が出来ると良い。</p> <p>昨年度新規受け入れ実績が45名で、必要なニーズに対して応えている姿勢は感したが、もう少し地域の方を積極的に受け入れて欲しいと思った。</p> <p>2024年9月から定期的に施設見学会を実施とのことだが、君津圏域に案内は来ているか疑問に思った。東京都や神奈川県等を対象にしている印象を受けた。</p> <p>利用者の6割が県外援護者、就職説明会も東京で実施する等、木更津にある施設という感じが薄い。</p> <p>ベッドやリネンがレンタルである事に驚いた。衛生面は良いと思うが、自分が普段使っている寝具を使える方が安心するのではないのでしょうか。</p>					

## 市町村協議会等による評価結果報告シート

市町村協議会等名	木更津市地域自立支援協議会 居住支援部会
評価結果等の概要	<p>利用者の障害特性に合わせて個別に対応していただけることは評価できると思います。一方で、普段生活をしているグループホームと全く同じ間取りで、ここが生活介護をする空間であるという認識が取りづらいのではないかと感じました。壁紙の色を変える、照明を明るくする等何か工夫出来ると良いかと思えます。また、プログラム案や利用者の導線等よく検討していただきたいです。</p> <p>利用者がどこで作業し、職員がどこに配置されるか、具体的な部分が見えてこないので評価が難しく、一人一人が見える位置に、職員が配置されるのか、死角がないのかが気になりました。</p> <p>外部委託の日中活動の利用者がいても良いと思うが、柵の郷の生活介護の利用に限られていることは残念であると思う。また、新設生活介護において、外部からも積極的に受け入れて欲しいと思います。</p> <p>個別対応＝放置とならないように、人間的な温もりは創出して欲しいと思います。</p>
※市町村協議会等は、評価結果等報告シートの作成に当たって地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図る観点から、当該事業における運営方針及び活動内容等について評価を行う事。	

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和7年11月4日

木更津市地域自立支援協議会長 野中 道男

評価対象施設名	特定非営利法人 新祐会 万石の家				
評価日	令和7年9月18日				
1. 利用者状況	障害支援区分	人数	内訳 (重複有)	障害別利用者人数	
	非該当	0		身体	5名
	区分1	0		知的	13名
	区分2	0			
	区分3	0		精神	0名
	区分4	1名			
	区分5	2名			
	区分6	11名		難病	2名
	合計	14名			
2. 利用者の主な日中活動 (1)GHどのような日中サービスを提供しているか (2)外部の日中活動内容について	(1)利用者それぞれに合わせた個別課題・合同作業・ドライブ・施設庭園での運動やBBQ等とニーズに併せて訪問リハビリを依頼し、買物・整容整髪・入浴・通院・往診の支援、手作りの食事やおやつの提供等。 (2)日中サービス支援型のため外部の日中活動サービスの利用は無い。				
3. 利用者に対する地域生活の支援状況 (1)外出や余暇活動の支援に努めているか (2)新規入所希望者に体験利用をさせているか	(1)通院や買い物の同行と畑作業やドライブや近隣の散歩、外食の中で人とのふれあいや物品の選択等と様々な感覚に触れ、日々の活動の中での何かしらの活力となるよう思慮を重ねている。 (2)体験前のGH見学⇒昼食時間帯の体験⇒1泊以上の体験(日数を増やし回数)⇒本入居の流れがある。これまで28名の体験利用を実施した。				
4. 支援体制の確保について (1)日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (2)職員研修を実施しているか	(1)国や県の定める基準に従い職員配置を行い、24時間体制の支援を確保している。また、外国人(スリランカ)労働者を採用しており、手厚い人員配置の支援体制にしている。 (2)マニュアルを基に車内で研修を実施。リモートも活用している。				
5. 地域に開かれた運営について (1)家族や地域住民との交流の機会が確保されているか (2)実習生やボランティアを積極的に受け入れているか	(1)家族の面会や外出・外泊に加えてGHでのBBQに家族などの参加、近隣住民に多目的ホールを開放し、イベントの実施や茶会等にご利用いただいている。 (2)実習生やボランティアを受け入れる体制はと整っているが現在はいない。業務に関しての見学者入る。				
6. 短期入所の併設について (1)地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか (2)緊急・一時的な支援等の受け入れについて対応しているか	(1)問合せいただいた際に、施設見学の案内を実施。 (2)障がい福祉課・相談支援専門員・ケアマネージャーからの以来された緊急多事の対応を実施している。				
7. 相談支援事業者や他のサービス事業者との連携状況について	利用者のニーズに必要なかつ向上を図れるよう定期的な連絡と状況変化の連絡をはじめ様々な分野で連携を取っている。				
8. 居住支援部会要望・助言・評価	<p>重度の方が多く利用されており、個々に合わせた日中活動を穏やかに過ごされている様子だった。特に、食事に関してはコストを抑えつつも『美味しく、暖かい食事』と言った印象で、料理のいい匂いも家庭的に感じた。</p> <p>庭での野菜作り、それを使ったBBQ等季節を感じられると共に手作りの家庭的な雰囲気を利用者・職員で共有出来ることは良い。</p> <p>20人規模の日中支援型GHで住宅街にありながら、地域の方々との交流もあり地域に馴染んでいる印象。入居希望者に対して、本人のペースに合わせて無理のないように見学・体験をすすめているので利用者・職員お互いに理解した上で新生活を迎えられることは評価できる。</p> <p>職員の半数近くを特定技能実習生(スリランカ)にて確保し、昨年よりも職員が多く手厚い印象。ただ、直接処遇職員全員が女性で、驚きと大変な面もあるのではと感じた。</p> <p>昨年度と比べると職員配置が手厚くなって、個々の職員の負担軽減に繋がっている。一方で技能実習生を多く受入れていることもあり、実習生へのフォローの時間など苦労もあるかと思う。</p> <p>近隣住民への多目的ホール等を開放し、利用してもらい交流することで地域との垣根を感じない、住宅街にありながら自然な印象が持てた。</p> <p>多目的ホールの開放は、地域住民とつながりや理解にも繋がっていると思われる。今後も継続して欲しい。</p> <p>外部の日中活動サービスを利用しないと届を出しているということだが、入居者の希望や特性から外部(B型等)の利用も検討してみるのも良いかと思う。</p> <p>トイレ介助の際、扉を閉めないままでの対応が見られ残念であった。</p> <p>出来上がった食事の保管が、常温で新聞紙を被せるのみだったため、衛生管理的な問題が気になった。</p> <p>棟が男女混合であるので、心配な面もある。</p>				

評価対象施設名	株式会社 INNOVELHEALTHCARE グループホームイノベル桜井新町				
評価日	令和7年9月10日				
1. 利用者状況	障害支援区分	人数	内訳 (重複有)	障害別利用者人数	
	非該当	0		身体	2名
	区分1	0		知的	16名
	区分2	0			
	区分3	1名		精神	2名
	区分4	4名			
	区分5	8名		難病	0名
	区分6	5名			
合計	18名				
2. 利用者の主な日中活動 (1)GHどのような日中サービスを提供しているか (2)外部の日中活動内容について	<p>(1)食事・入浴・排せつ介助等日常生活に関する支援の提供、日中活動の提供。室内での日中活動は塗り絵、毎月のカレンダー等掲示物や行事用の装飾の作成を実施、外出活動は、散歩や買い物支援を実施。</p> <p>(2)15名のうち12名が同一法人外の外部サービスを利用。就労継続B型やリハビリを目的とした生活介護等利用者の希望に合わせて利用してもらっている。</p>				
3. 利用者に対する地域生活の支援状況 (1)外出や余暇活動の支援に努めているか (2)新規入所希望者に体験利用をさせているか	<p>(1)買い物支援、外部受診付添、昼食外出支援に加えて、定期的な行事の企画(誕生日会、ハロウィンパーティー、カラオケ大会、クリスマス会等)。</p> <p>(2)これまでに対応した体験利用は1名。病院からの退院後の生活の場を探している方に対応した。</p>				
4. 支援体制の確保について (1)日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (2)職員研修を実施しているか	<p>(1)現在は1階(A棟)1ユニットのみ利用者が入居。日中は1ユニット2名～3名の体制を確保し、夜間は1ユニット夜勤1名体制を確保している。9:00～15:00の時間帯を手厚く体制を整えて、入浴介助、見守り、レクリエーション等職員の役割を決め支援を実施。</p> <p>(2)虐待防止、感染対策、身体拘束、BCP研修を行っている。</p>				
5. 地域に開かれた運営について (1)家族や地域住民との交流の機会が確保されているか (2)実習生やボランティアを積極的に受け入れているか	<p>(1)利用者のお散歩支援時に近隣の方々に挨拶を行い、利用者が近隣の方々等地域の方たちとふれあいながら暮らせるよう努めている。家族との交流について、利用者の生活状況等について電話にて定期的に報告を実施。</p> <p>(2)実習生・ボランティアについては受け入れた実績がないため、今後検討していきたい。</p>				
6. 短期入所の併設について (1)地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れているか (2)緊急・一時的な支援等の受け入れについて対応しているか	<p>(1)入居の問い合わせは地域の方よりも、遠方市や県外の方が多い。相談があった際には、その方の疾患や特性を聞き、法人内で対応出来るホームを調整している。</p> <p>(2)1ユニットに1部屋短期入所のための部屋を準備している。相談があった際には、同一法人内で調整をして対応している。</p>				
7. 相談支援事業者や他のサービス事業者との連携状況について	<p>定期的に相談員に連絡し、利用者の近況報告を実施。課題がある場合は多職種で連携を図れるようWeb会議等も用いて課題解決に努めている。</p>				
8. 居住支援部会要望・助言・評価	<p>ホーム内は清潔が保たれ、コロナ等の流行り病の発生予防のために努力されていると感じた。また、ホーム内は静かな環境であった。</p> <p>利用者の希望に合わせて外部サービスの利用も設けられていて良い印象であった。今年から隣接する会社や近所の店舗と合同で防災訓練を実施とのことで地域で暮らすうえでは大切なことなので評価出来る。</p> <p>季節の移り変わりを感じられる部屋作り、イベント等のスケジュールも考慮されている。</p> <p>男性職員が他のホームに比べると多く、桜井新町から同一法人の君津や幸町の通院同行等の応援を行っているという点でエリアでの協力体制も取れていると評価できる。</p> <p>地元の障がい者をもう少し受入れて頂けると良い。</p> <p>短期入所について常に1室空けて対応出来るようにしていることは評価できるが、普通のベッドでの対応のみとなるため、身体介護を要する方には利用が難しいと感じた。</p> <p>エリア内の同一法人内で、対応する障がいの疾患や特性に合わせて調整をしているという点で、対応する介護職員の負担を考えると評価できる取組と判断できる。常に本社とWeb会議や研修、近隣のサービス事業者との連携を図っている。</p>				